

KOBELCO

 日本高周波鋼業株式会社

CORPORATE GUIDE

www.koshuha.co.jp

 日本高周波鋼業株式会社

独創的な技術を育み、 モノづくりに生かす。

高度な製品を通じて、新しい価値を提案する 日本高周波鋼業グループ。

日本高周波鋼業グループは、神戸製鋼所のグループ会社として、高級特殊鋼およびダクタイル鋳鉄などを製造している会社です。多くの製品は、自動車産業、エレクトロニクス産業、産業機械、航空・宇宙産業等で、幅広い部品や製造装置として利用されています。これらは、目に触れない分野で活躍することが多く、一般にはあまり知られていないのですが、これまで多くのお客さまに高い評価をいただけてきました。

私たちの「モノづくり」を支えているのは、創業以来培ってきた独創的な技術力です。すぐれた保有技術を大切に育み「モノづくり」に生かすことによって、製品に新しい価値を創造し、社会に役立っていくことが、日本高周波鋼業グループの大きな目標です。

社会の変化や高度化するニーズにお応えし、いろいろな産業分野でスペシャリストとして期待される役割を果たしていくため、私たち日本高周波鋼業グループはこれからも「モノづくり」の可能性に挑戦していきます。

経営理念

魅力ある製品の提供を通じ、
環境と人間が融和した豊かな社会づくりに貢献します

CONTENTS

- 1 ごあいさつ・経営理念
- 2 目次
- 3 社長メッセージ
- 4 グループ事業一覧
- 5 モノづくりの歩み
- 7 日本高周波鋼業の強み
- 9 特殊鋼事業紹介
- 13 特殊鋼製品紹介
 - －特殊合金
 - －工具鋼
 - －機械加工・熱処理・表面処理
- 15
- 17
- 19 鋳鉄事業紹介
- 21 製造プロセス
- 23 研究開発
- 25 サステナビリティ経営



グループ事業一覧

特殊鋼事業と鑄鉄事業において 開発、製造、販売の一貫体制を整えています。

日本高周波鋼業グループは、特殊鋼事業と鑄鉄事業において、さまざまなニーズにお応えできる体制を確立しています。特殊鋼事業はグループ全体の中心的な事業であり、鋼線・線材・棒材・鍛造品・加工品・素形材などの開発・製造・販売を日本高周波鋼業（株）が行っています。また、これらの製品をご要望に応じてお届けするため、鋼材機械加工・熱処理・表面処理・流通を一貫して（株）カムスが行っています。鑄鉄事業では、自動車や機械分野で欠かせない、安定した品質の鑄鉄製品を高周波鑄造（株）で製造しています。



President Message

高度化するニーズに確実に応え
信頼される企業グループを目指します。

日本高周波鋼業グループは、わが国の特殊鋼業界の先駆けとして長い歴史を重ね、つねに新しい製品や技術の開発に取り組んできました。現在では、工具鋼、特殊合金、軸受鋼、鑄鉄製品、流通など多岐にわたる事業においてグループ各社が力を結集し、多くのお客様に評価をいただくことができました。このようなグループの総合力を支えているのは、長年にわたって引き継がれてきた「モノづくり」にかける情熱であり、一人ひとりのマンパワーの結集であることは言うまでもありません。変化する経済情勢のなかで、日々高度化するお客様のご要望に確実に応えていくため、いま日本高周波鋼業グループは事業分野の選択と集中を図っています。とくに、高付加価値製品へのシフトを加速することにより技術的競争力をさらに高め、より強い企業体質の確立を目指しています。

今後もあらゆる産業の基礎資材として、特殊鋼製品の果たすべき役割はますます重要になっていくことでしょう。しかし将来にあっても、私たちのモノづくりは、つねに人間や社会、地球環境と共生し、ともに成長していかなければなりません。これからも私たち日本高周波鋼業グループは、幅広い事業活動を通して、つねに企業市民としての役割を果たし、社会に信頼される企業グループを目指していきます。

日本高周波鋼業株式会社
代表取締役社長 小 椋 大 輔

特殊鋼事業

日本高周波鋼業(株) 富山製造所

(株)カムス



鑄鉄事業

高周波鑄造(株)



時代とともに、 より広く多彩に 成長する特殊鋼の世界。 モノづくりの歩み

特殊鋼業界の先駆けとして、
長い歴史を重ねてきた日本高周波鋼業。
私たちは、時代のニーズに応える
独創的なモノづくりに取り組み、
特殊鋼のフィールドをさらに大きく広げています。

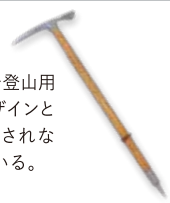
工具鋼

1945

頃

幻のピッケル

戦後、ゼロ戦の脚に用いた特殊鋼を用いて、当社で登山用ピッケルを試作した。高級材料による優美なデザインと品質の良さが岳人の中で高評価を得たが、量産されなかったため「幻のピッケル」として語り継がれている。



1969

アポロを月面に導いたミニチュアベアリング

アメリカ・アポロ11号が月面着陸した時、当社のSM3鋼線から製造したミニチュアベアリングがジャイロに使用され、数少ないメイドインジャパン製品として話題となった。



1988

「マイクロファイン工具鋼」ブランドのシェア拡大

工具鋼の不純物や非金属介在物の低減を図る製造プロセスを独自に開発し、高靱性化・均質化を実現した。このプロセスを適用した当社の「マイクロファイン工具鋼」は理想の工具鋼とも呼ばれ、当社の評価は大きく高まった。



1995

冷間工具鋼「KD11S」開発

2001 ダイカスト用金型用鋼「KDA1S」開発

2003 2500t油圧プレスに改修
3000t油圧プレスに改修



2008 金型表面処理被膜「マカオンコートKS-G」を共同開発



2009 ハイテン成形用冷間工具鋼「NOGA」を共同開発



2011

・冷間工具鋼「KD11MAX」を開発
・高級プラスチック金型用鋼「GHX」「JHX」を販売

2015

ホットスタンピング用金型用鋼「KDAHP1」を販売

2017

3000t油圧プレス マニプレータ大型化

ステンレス鋼・特殊合金

1961

(株)神戸製鋼所 名古屋工場より1000t水圧プレスに移設

1975

2500t油圧プレスを設置

1963

マルテンサイト系ステンレス軸受鋼「SM3」を製造開始

1980

耐食ベアリング用マルテンサイト系ステンレス鋼「SMX70」を顧客と共同開発

1986

高強度線、ニッケル合金線、チタン線および溶接用特殊合金線の受注開始

1981

真空誘導溶解炉(VIF)を新設



2002



コンバインドマシン3機体制を整備しステンレス引抜棒鋼分野に進出

2003

第2特殊合金線工場を建設

2006

第3特殊合金線工場を建設

2013



真空アーク再溶解炉(VAR)を新設

VARは、電気炉や誘導炉で溶解した鋼塊を真空中で再溶解することにより、より高い清浄度の鋼塊を製造する設備を導入している。

軸受鋼

1941

軸受鋼の量産開始

1984 小径中空部品「NKリング」を開発

1981

NKコイラーの開発・稼働



1990



全自動化新鋼線工場が稼働

2000

軸受鋼鋼材(軸受鋼鍛鋼品を除く)営業権を神戸製鋼所に譲渡

2013

鋼線東仕上伸線工場を新設

日本高周波鋼業およびグループ会社の事業の歩み



1934

高周波電撃精錬法の発明

高周波電流によって鉱石中の酸化鉄を瞬間的に還元する方法が発明された。この方法により、高炉では処理できなかった粉鉱を原料として活用できるようになった。この精錬法が、当社の名前の由来となっている。

1936

日本高周波重工業(株)を設立

1950

日本高周波鋼業(株)を設立

1952

東証、大証に上場

1955

(株)神戸製鋼所資本参加

1968

40tアーク式電気炉設置



1983

西ドイツコックス社製線材仕上ブロックミル設置



1981

高周波 casting (株)を設立

1993

バンコク駐在所を新設

2001

・(株)カムスを設立
・高周波精密(株)を設立

2011

麦卡発商貿(上海)有限公司を設立(中国・上海)

2019

分塊圧延ラインを更新完了

2023

高周波精密(株)の事業を(株)カムスに承継

独創的な技術力で
新たな価値を社会に提供する

日本高周波鋼業の強み

日本高周波鋼業の最大の強みは、長年にわたり蓄積した技術力と製鋼から二次加工まで合理化された一貫製造ラインで製造された、高品質な特殊鋼製品です。これからも幅広い分野で、信頼される製品を創出していくよう挑戦を続け、特殊鋼の可能性を広げていきます。

強み 1. 創業以来培った技術力

特殊鋼のスペシャリストとして長年にわたり蓄積した高い技術力を生かし、高度化、多様化するお客様のニーズにお応えします。お客様が必要とする材料特性や使い方などのご要望を把握し、あらゆる角度から検討を重ね、最適なソリューションを提供します。

事例

自動車ハイテン用金型の長寿命化を可能にした マカオンコートKS-G

自動車ボディ材の主流である高張力鋼板は、その強さゆえにプレス金型の損傷が激しいという問題がありました。プレス金型用鋼で豊富な経験を持つ当社は、(株)神戸製鋼所、金型流通のグループ会社である(株)カムスとともに、金型表面に硬質皮膜を形成する技術「マカオンコートKS-G」を開発。最適な金型用鋼と表面処理の組合せにより、品質の安定化および長寿命化が可能になり、自動車部品メーカーから高い評価を得ています。このように、お客様の要望に合わせて最適な保有技術を活用してご提案できることが、当社の大きな強みです。



Technology for
Solution

強み 2. 合理化された一貫製造ライン

Manufacturing System



Wide Application



強み 3. 幅広い分野で活躍する製品群

高度な技術力と合理化された一貫製造ラインで製造された製品は、自動車、航空・宇宙、エレクトロニクス、医療などの先端分野から、私たちの生活の身近なところにいるまで、幅広く活躍しています。

富山製造所は80年以上の歴史を誇る、当社のモノづくりの拠点です。ここには、原料から鋼をつくる製鋼工程、製品の形をつくる鍛造工程・圧延工程、線や棒などの最終製品をつくる二次加工工程が集約されています。高度な生産技術とノウハウを活かし、合理化された一貫製造ラインを構築しています。また、さまざまな鋼種の製造や小ロット生産などに対応するように、柔軟かつ強靱な生産体制の整備を進めています。

製鋼工程



アーク式電気炉

鍛造、圧延工程



3000tプレス

圧延

二次加工



大型旋盤

連続伸線機

高度な生産技術と厳しい品質管理のもと トップクラスの高級特殊鋼を製造します。

特殊鋼事業は、日本高周波鋼業グループの核となる事業分野です。私たちは、これまでに蓄積してきた高度な技術力をベースとし、製鋼から鍛造、圧延、加工、熱処理までを一貫して行っています。製造する鋼種は、工具鋼、特殊合金、軸受鋼など幅広く、用途に応じて鍛造品、線材、棒材などの加工製品として提供することが可能です。

またきわめて高い特性が要求される耐熱鋼やステンレス鋼は、自動車、エレクトロニクスなどの先端分野で採用されています。製造工程では、まず溶解・精錬工程で、不純物などを除去し、求められる成分や品質の鋼種を製造します。造塊工程ではインゴットを铸造し、さらに製品の形状に合わせ鍛造や分塊圧延を行います。

材質

- 工具鋼
 - 熱間工具鋼
 - 冷間工具鋼
 - 高速度鋼
 - プラスチック型用鋼
 - 機械構造用炭素鋼・合金鋼等
- 特殊合金
 - ステンレス鋼
 - 耐熱鋼
 - ニッケル合金等
- 軸受鋼

形状

- 鋼線
- 線材
- 引抜棒材
- 圧延棒材
- 圧延平角材
- 鍛造品
- 加工品
- 素形材



溶解 アーク式電気炉

原料の戻鋼や合金鉄を高温で溶解し、成分調整する。



溶解 真空アーク再溶解炉 (VAR)

繰り返し溶解を行い、不純物を低減し、緻密な凝固組織の溶鋼を製造する。



精錬 炉外精錬装置 (ASEA-SKF)

軸受鋼で培った精錬技術を応用し、高纯净度鋼を製造する。



造塊 造塊設備

精錬された溶湯を下注ぎ法で流し込み、インゴットを铸造する。



鍛造 3000tプレス

インゴットを鍛造し、高品質な鍛造品を提供する。



分塊圧延 分塊圧延機

インゴットを加熱し、圧延用ビレット、丸鋼、平鋼に圧延する。

溶解・精錬

造塊

鍛造

分塊圧延

圧延

熱処理・機械加工

冷間加工・熱処理・酸洗

検査

出荷

特殊鋼 製造フロー

鋼線・線材・棒材・鍛造品などの最終形状まで 一貫した生産体制を整えています。

富山製造所では、二次加工製品に至る特殊鋼の一貫生産体制を整えています。圧延では、分塊圧延機、棒材・線材圧延機、平板圧延機により、さまざまな形状の製品を製造しています。線材圧延では、仕上げ圧延に日本で初めて3ロールのブロックミル（コックス社製）を採用し、寸法精度の良い線材を製造しています。

加工された製品は、線材連続焼なまし炉、真空炉、光輝焼なまし炉などにより、熱処理を行います。酸洗・洗浄では、インライン式、バッチ式などの設備により、加工時に適切な表面状態に仕上げます。さらに分析機器、超音波探傷機などにより品質を確認し、出荷しています。



圧延 圧延機

ピレットを線材や棒材に加工する。



圧延 線材仕上げ3方向ロール

3ロールのブロックミルで、寸法精度のよい線材を製造する。



冷間加工 連続伸線機

圧延された線材は、伸線加工され、鋼線になる。



機械加工 大型旋盤

表面のスケールと呼ばれる不純物を取り除き、所定の寸法に仕上げる。

日本高周波鋼業株式会社

富山製造所 富山県射水市

ISO9001認証取得
ISO14001認証取得

[主要設備]

部門	設備名
製鋼	アーク式電気炉 40t・10t、炉外精錬装置 (ASEA-SKF) 真空脱炭装置 (VOD)、高周波誘導炉 3t、真空誘導炉 2t・0.3t エレクトロスラグ再溶解炉 (ESR炉) 3t・1t 真空アーク再溶解炉 (VAR) 7t・3t
鍛造	高速油圧プレス 3000t・1500t・1000t
圧延	分塊圧延機 (2重式シフティングリバースミル) 中小型圧延機 $\phi 110 - \phi 12.5$ 線材ブロックミル $\phi 12 - \phi 5.5$
線材加工	NKコイラー (自動キズ取連続伸線機) 連続伸線機、単頭伸線機、線材皮削機、酸洗設備
棒材加工	コンバインドマシン、棒材矯正機 棒材皮削機
機械加工	BT ^{センコーキ} A式穿孔機、自動ホーニング盤 CNC旋盤、マシニングセンター
熱処理	線材連続焼なまし炉、棒材連続焼なまし炉 真空焼なまし炉
検査	分析機器、材料試験機器、超音波探傷機

富山製造所



熱処理 バッチ式水素雰囲気焼なまし炉

雰囲気制御により表面品質の優れた線材を製造する。



酸洗 特殊酸洗装置

線材表面に付着した酸化物の除去や、皮膜形成を行う。



検査 原子吸光光度計

成分の分析を行い、確かな品質の製品を出荷する。



検査 3D形状測定機

非接触で形状や粗さの測定が可能な装置であり、材料表面のきずの深さの測定などに使用している。



独自技術で製造される特殊合金は 製品素材として幅広い用途に 活用されています。

特殊合金は、日用品から航空・宇宙やエレクトロニクスなど幅広い分野で使用されています。日本高周波鋼業では圧延線材から鋼線、磨棒材など特殊合金の高機能素材を製造しています。とくに、技術革新のスピードが速い先端産業では、さまざまな特性を持つ高機能素材が求められています。こうしたニーズに応えるため、独自の成分設計で溶解から伸線、抽伸、機械加工を一貫加工で行い、高度な要求にも小ロットから敏速に対応できる体制を整えています。

製品例



鋼線



引抜棒材



線材

用途例

Automobile 自動車



ミニチュアベアリング
(実物大)
高耐食・高耐熱機能を満足する
自動車部品用素材。



エンジン用耐熱ボルト



ピストンリング

Electronics エレクトロニクス



耐食性・加工性にすぐれた
ハードディスクドライブ部品用素材。

Consumer electronics

家電

家電製品・電子機器の長寿命化
と低消費電力化を実現する
電子部品リード線用素材。



Energy エネルギー

LNGタンクの溶接に必要な
低温靱性・耐食性・強度を
兼ね備えた高性能溶接材料。



Daily necessities 日用品



軽量で耐食性にすぐれ、長期間美しさを
保つチタンフレーム眼鏡用素材。

Nuclear power generation

原子力

原子力発電のような特殊用途の
溶接に用いられる高耐食性溶接材。

日本高周波鋼業の工具鋼は高品質で ユーザーの生産効率向上に大きく貢献します。

工具鋼は、鉄、非鉄、プラスチックなどの素材を、さまざまな製品形状に加工するための金型や工具として、幅広く使用されています。金型や工具の耐久性を高めるため、工具鋼には耐熱性・耐摩耗性・靱性などが求められます。これらの要求に応えるため、当社の工具鋼は、厳選された材料と独自の成分設計、鍛錬技術、熱処理などで製造されています。日本高周波鋼業の総合技術から生まれた製品は「マイクロファイン鋼」と呼ばれ、多くのユーザーから高い評価を得ています。

製品例



圧延棒材



圧延平角材



鍛造品（丸棒）



鍛造品（角鋼）

加工品・素形材

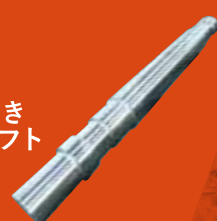
コンテナ
タイヤ



ステム



段付き
シャフト



用途例

多岐にわたる環境下で使用される金型・工具には、
耐熱性・耐摩耗性・靱性などさまざまな特性が必要とされます。

プレス金型



自動車

熱間鍛造型



エンジン、足回り部品

切削工具



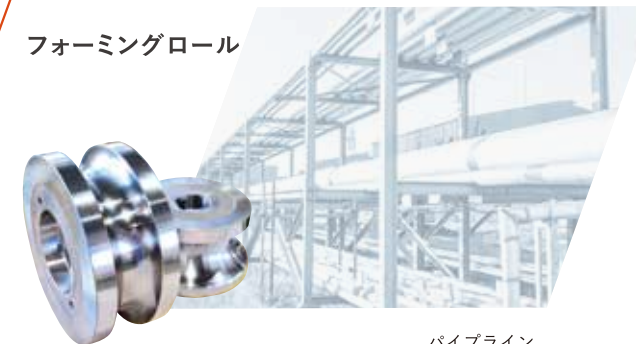
エンドミル、ドリル、ボブブローチなど

アルミ押出ダイス



押出製品（窓サッシ）

フォーミングロール



パイプライン

プラスチック成形型



自動車内装

産業機械



水門



特殊鋼 / 製品紹介

機械加工・熱処理・表面処理

豊富な鋼材在庫と最新鋭の設備で 機械加工から熱処理・表面処理まで一貫した サービスを提供します。

お客さまからの要望にタイムリーにお応えするため、流通機能の重要性はますます高まっています。カムスは、日本高周波鋼業マイクロファイン鋼の在庫、販売、配送のみならず、機械加工・熱処理・表面処理まで、さまざまなニーズにお応えできる一貫した体制を整えています。豊富な在庫、充実した機能、また、全国各拠点のネットワークで、安心かつスピーディなサービスを提供します。

機械加工 豊富な設備で、さまざまな形状の加工に対応します。



NCフライス盤



複合加工機



縦型マシニングセンター



横型マシニングセンター

株式会社カムス

[主要設備]

部門	機械加工	熱処理	表面処理
本社工場	縦型フライス盤、両頭フライス盤 NCフライス盤、平面研削盤 縦型マシニングセンター 横型マシニングセンター、複合加工機 超硬ブレードバンドソー、バンドソー	真空焼入炉 真空焼戻炉 真空窒化炉 サブゼロ装置	—
厚木工場	—	真空焼入炉 雰囲気焼入炉 焼戻炉 サブゼロ装置	—
瀬戸工場	—	真空焼入炉、焼入油槽 雰囲気焼戻炉 真空焼戻炉 大気焼戻炉、洗浄槽	成膜装置 ラジカル窒化装置 真空脱ガス装置
西宮工場	バンドソー	—	—
富山工場	縦型フライス盤、NCフライス盤 両頭フライス盤 縦型マシニングセンター NC旋盤、バンドソー	—	—



切断

1300mmバンドソーを保有し、大型製品のご要望にも対応します。



熱処理 真空焼入炉

研究開発にて培ったノウハウで、熱処理変寸を制御し、高い品質を誇っています。

表面処理

神戸製鋼グループが開発した表面処理技術「マカオンコートKS-G」により金型の種々の問題に対応します。



表面処理を施した金型



表面処理設備

鋳鉄 事業紹介

産業の高度化に貢献し 社会の信頼に 確実に応えます。

鋳鉄製品は、自動車や建設機械、産業機械などの主要コンポーネントを構成する素形材です。高周波鋳造では長年の小ロット・多品種生産で培ったノウハウをベースにしたダクタイル鋳鉄を中心に、普通鋳鉄、特殊合金鋳鉄、鋳造工場向け作業機器を生産しています。
 生型鋳造工場と自硬性鋳造工場を持ち、小物～大物品まで中子の製造～鋳仕上げ・塗装まですべての工程が工場内で完了する一貫した生産体制を整えて、品質保証やリードタイムお客様のニーズに
 応えています。

需要分野

- 自動車
 ■土木建築
- 建設機械
 ■工作機械
- 産業機械
 ■半導体関連装置

材質

- FC150～300
 ■エンデュア900
- FCD400～800
 ■合金鋳鉄
- FCAD900～1200



溶解
 高周波誘導炉

原料の銑鉄やスクラップを高温で溶解し、保持炉を介して安定した品質を提供します。

高周波鋳造株式会社 青森県八戸市 ISO9001認証取得・ISO14001認証取得

[主要設備]

部門	設備名	部門	設備名
溶解	高周波誘導炉 5t 中周波誘導炉 5t×2・10t 低周波誘導炉 6t 低周波誘導保持炉 20t	砂処理	ミキサー (3基) 事前処理装置、砂再生装置
造型	FCMX自動造型ライン KDM自動造型ライン フラン系樹脂自硬性造型ライン	製品処理	CNCバリンダー、ショットブラスト 台車式熱処理炉、機械加工設備
中子造型	コールドボックス中子自動造型機 シェル中子自動造型機 自硬性砂中子造型設備	検査他	発光分光分析装置 磁粉探傷・超音波探傷装置 三次元測定機 CADシステム



KDM自動造型ライン

ダブルスクイズ造型による高強度・高精度な鋳型でニアネットシェイプを実現します。



フラン系樹脂自硬性造型ライン

製品単重で最大4tまで製造可能で、エンデュア900をはじめ各種合金鋳鉄にも対応します。



高周波鋳造(株)



自動車

車両部品

振動減衰能が高く、振動や騒音の防止にも寄与しています。また、特殊合金の添加で耐熱性を向上させた製品も製造しています。



建設機械

油圧部品

強度と耐久性にすぐれ、被削性のよい鋳鉄品を提供します。



産業機械

射出成形機・ロボット部品

複雑形状も一体で製造でき、肉盗みやリブの補強で軽量化に貢献します。



ゲートベッカー



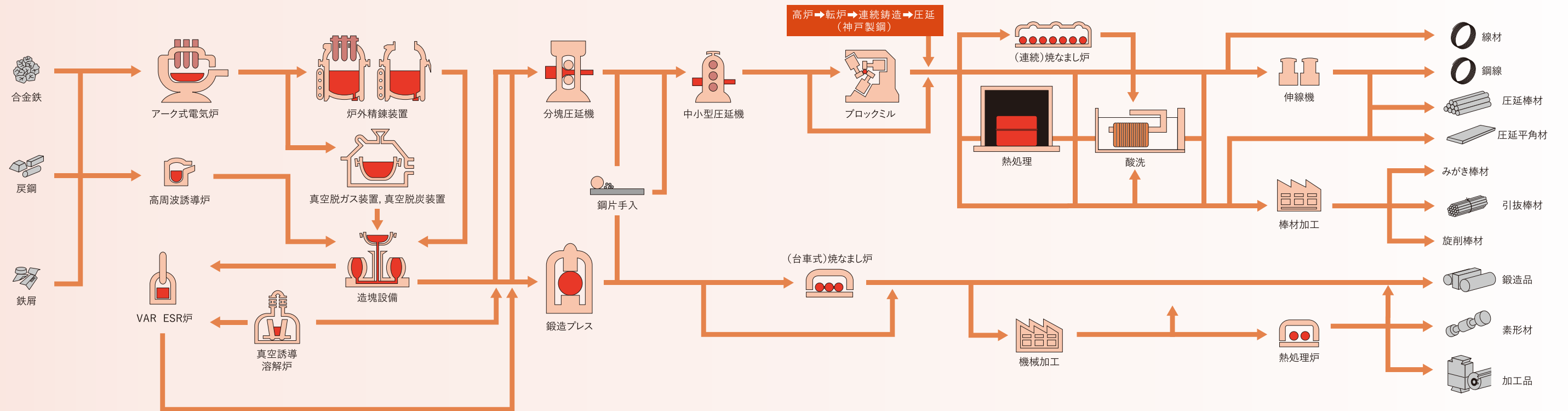
鋳物堰破断機「ゲートベッカー」は、鋳造工場現場のニーズから生まれた作業改善用ツールです。超高压の油圧を利用して堰破断を楽に行うことができ、使いやすさ、メンテナンス性なども考慮しています。

製造プロセス

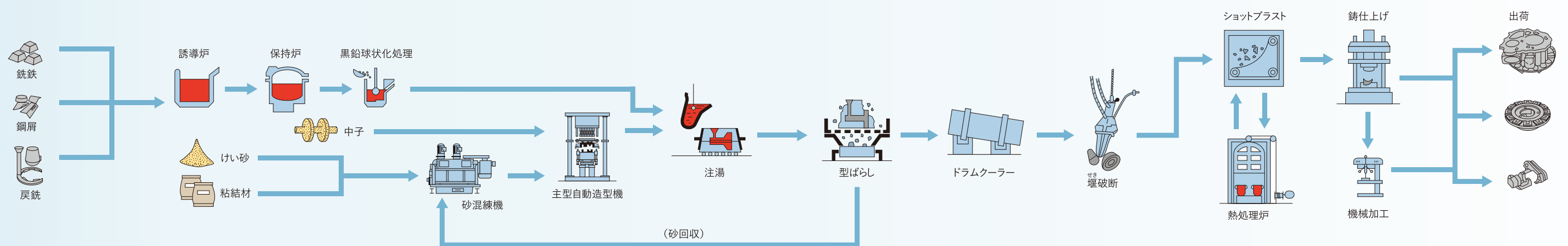
高周波とは

1934年、南満州鉄道（株）の中央試験所に勤務していた菊池秀之により「高周波電撃精錬法」という製鉄法が発明されました。これをきっかけに1936年、当社の前身である日本高周波重工業（株）が設立され、現在の社名もこの製鉄法に由来しています。高周波電撃精錬法とは、高周波電流によって鉱石中の酸化鉄を瞬間的に還元する方法です。この方法で日本高周波重工業（株）は、当時の高炉では処理できなかった粉鉱を原料として活用し、拡大する特殊鋼需要に大きく貢献しました。

特殊鋼・特殊合金



鋳鉄



研究開発

要素技術と製鋼、鍛造、圧延を代表する製造技術の総合的な技術力を基盤に魅力ある鋼種を開発します。

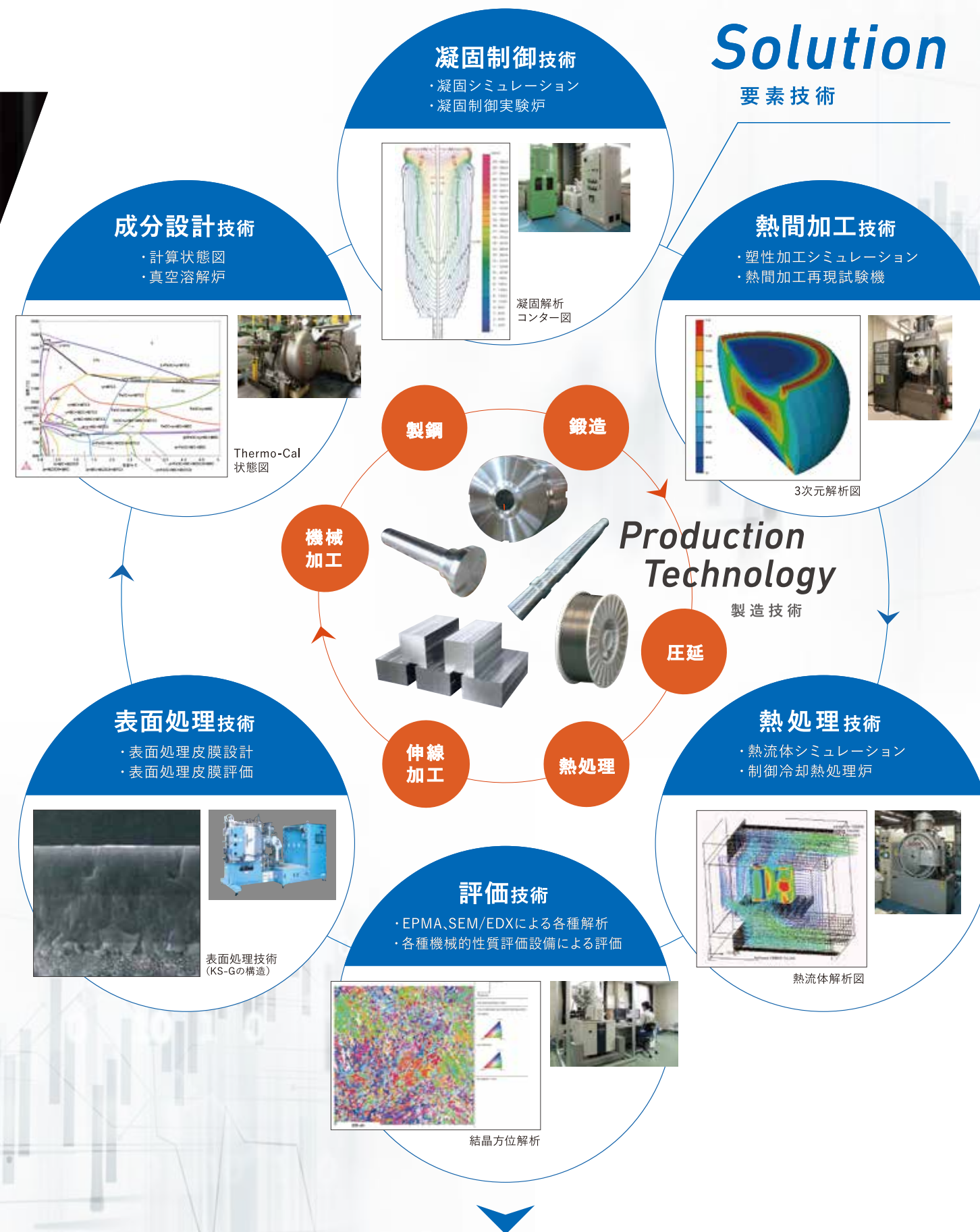
日本高周波鋼業株式会社は、あらゆる特殊鋼製品のニーズにお応えするため、鋼種の開発から、製鋼、鍛造、圧延、鋳造、精密加工にいたる総合的な研究開発を進めてきました。特殊鋼分野では、長年蓄積した冶金技術をベースに、新鋼種の成分設計のシミュレーションや、熱処理試験などを含めた開発を進めるなど、つねにすぐれた品質を実現できるようなアプローチを重ねています。

また、将来を見据えた商品開発のため、大学や公的研究機関とのプロジェクト研究、(株)神戸製鋼所との共同研究や人的・技術的交流を通して、イノベーションの創出と研究者のスキルアップを図っています。

私たちが製造する高性能製品や高付加価値製品は、このような高度な研究開発がベースとなっています。

Solution

要素技術



特殊鋼分野

ニーズに応え、魅力ある鋼種を開発する
要素技術と製造技術の両輪を回す研究開発

サステナビリティ経営 4つのテーマ

4つのテーマを重点的に実施し
豊かで住みよい社会づくりに貢献します。

1 社会課題の解決



製品の供給を通じてお客様のサステナビリティ経営を支援し、社会課題の解決を目指していきます。

軽 量 化	高強度金型工具鋼や金型表面処理（自動車、鉄道車両など） 車体の軽量化を支え、環境にやさしい車づくりを実現します。
長寿命化	耐熱耐食特殊合金（自動車、電子情報、半導体など） 部品などの長寿命化をサポートし、故障や無駄のない車や機械づくりに貢献します。
耐 久 化	建設機械用部品 過酷な使用環境での耐久化を支えることで、建物・工場やインフラの整備に役立ちます。

2 地域への貢献



事業をおこなっていく上で地域住民からの理解は欠かせません。イベント開催や協賛を通して、地域社会に貢献しています。

社会との関わり

企業経営の基本的な要件として、社会的責任を果たすことを第一に考えています。社員一人ひとりが定められたルールを遵守し、業務を遂行しています。また、事業所周辺の清掃やボランティア活動など、さまざまな地域活動を通じて地域の方々との交流を深めています。地域社会に貢献する「企業市民」を目指し、積極的な活動を続けています。

主な活動

射水市 アダプトプログラム参加

2002年よりアダプトプログラム事業に参加し、清掃活動を実施しております。2022年には地域の環境美化に貢献していることをもって、当年度の県土美化推進功労者として富山県知事表彰されました。



高周波コミュニティーセンターの 一般開放

富山製造所にある高周波コミュニティーセンターの軽運動室、研修室、教養室を社員だけでなく、一般に開放しております。また、企業活動の理解を深めるという観点から、積極的に工場見学受け入れを行っています。



工場見学会の実施

地域貢献の一環として主に高校生を対象とした富山製造所の工場見学を積極的に行っております。特殊鋼の製造ラインを見ていただくことで当社への理解をより一層深めていただき、身近に感じていただける工場を目指しております。



3 地球環境との共存



地球の限りある資源を守るため、素材や製造法を工夫し、環境にやさしいモノづくりに取り組んでいきます。

環境方針

私たちは、地球社会の一員として、環境の重要性を認識し、その保全、保護、改善のために不断の努力を行い、社会的役割と事業活動を両立させる環境保全企業を志向する。

1. **社会との共生**：地域社会の環境保全活動に積極的に参画する。
2. **環境意識の向上**：社員に対する教育、啓発を進め、環境意識の向上に努める。
3. **環境負荷の低減**：企業活動において、環境保全、資源保護、リサイクル等の視点から点検を行い、環境負荷の低減に努める。
4. **法令等の厳守**：環境関連法規定及び環境保全協定など順守する。
5. **環境改善活動**：具体的な目的及び目標を設定し、継続的な改善活動を推進するとともに、定期的な見直しを行う。

リサイクル社会の実現のために

金属くずを原料としたモノづくりにより、リサイクル社会の実現を支えます。主に鉄くずやステンレスくず、電池くずなどから高付加価値製品を生産。また、製造所内で発生する金属ダストやレンガくずなどのリサイクルも進めています。

環境にやさしい仕組みづくり

リサイクル重視で無駄の少ないモノづくりを進めるとともに、地域のニーズを踏まえた環境対策も推し進めていきます。

環境を意識した取り組みの例	●排熱の回収や耐火物の軽量化で、燃料の消費を抑制	●工場内の照明の LED 化や、オフィスのペーパーレス化の推進
	●歩留の向上で、無駄のないモノづくり	●大気や水質など法令を遵守し、環境汚染を防止

防災への取り組み

災害時における防災体制の整備、防災訓練などを継続的に実施し、事故の未然防止や災害時の被害の最小化に積極的に取り組んでいます。

従業員への消火・救急救命講習

従業員を対象に定期的に消火器の取扱い及び消防署への通報訓練、自衛消防隊の放水訓練を実施しています。また、富山製造所では消防署より講師をお招きし、AEDを使用した救急救命講習を定期的に開催しています。



防災訓練

富山製造所では、安全衛生・環境・防災活動基本方針に基づき、年に3回の防災訓練を実施しています。訓練を繰り返すことにより、課題を改善し、防災意識の向上に努めております。



消防署との総合消防訓練

富山製造所では、定期的に地元の消防署との合同で総合消防訓練を実施しております。社員による119番通報、初期消火、自衛消防隊による消火訓練を行っています。



サステナビリティ経営 4つのテーマ

4 ガバナンスの追求



コーポレートガバナンス

当社は、株主利益を重視し企業価値を高めるため、管理機能の強化と効率化を図り、事業環境の変化に迅速に対応できる経営システムの構築に努めております。また、コンプライアンス体制の強化と環境問題への取り組み等を通じ、社会から信頼される企業を目指しております。この考え方の下、当社のコーポレートガバナンスに関する基本方針は次のとおりです。

1. 株主の利益・平等性の確保

株主の権利を尊重し、株主の平等性を確保するとともに、適切な権利行使のための環境整備に努めます。

2. すべてのステークホルダーとの適切な協働

高周波グループ企業倫理綱領にしたがい、すべてのステークホルダー（お客様、仕入先、従業員、地域社会等）との健全で適切な協働に努めます。

3. 適切な情報開示と透明性の確保

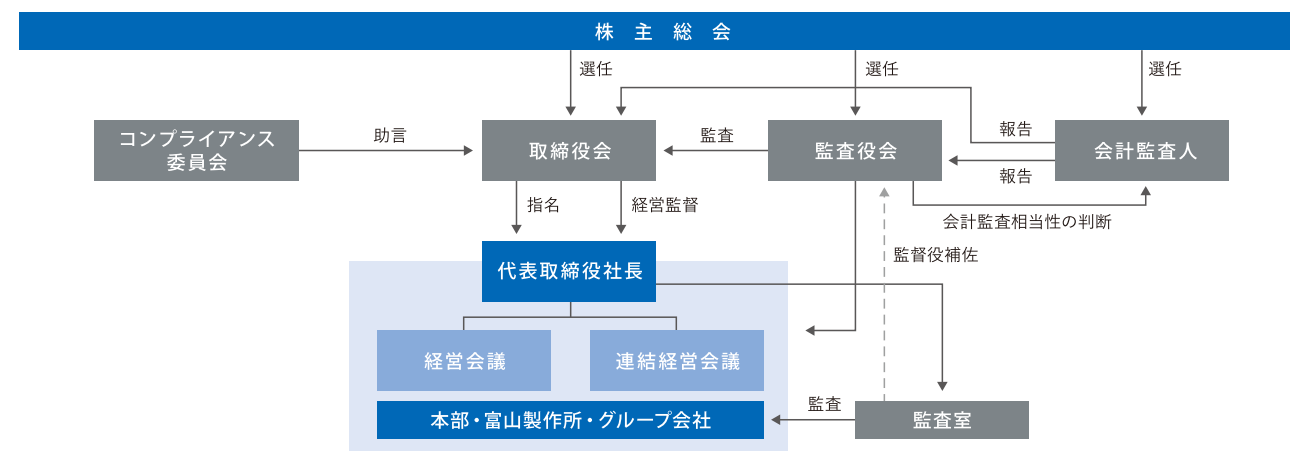
法令に基づく開示を適切に行なうとともに、法令に基づく開示以外の情報も主体的に発信し、透明性の確保に努めます。

4. 取締役会の責務

会社の事業に精通した者が中心となって機動的な意思決定を行い、社外取締役、監査役の監視・監督により透明・公正な意思決定を促し、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。

5. 株主との対話

株主の皆様とは、当社の長期安定的な成長を目指し、建設的な対話に努めます。



コンプライアンスへの取り組み

KOBELCOグループ共有の企業理念

KOBELCOが 実現したい未来

「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来です。
安全・安心で豊かな暮らしのなかで、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。

KOBELCOの 使命・存在意義

KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命です。
個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつつける。

KOBELCOの 3つの約束

KOBELCOグループ全員で共有する、社会に対する約束です。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

KOBELCOの 6つの誓い

私たちKOBELCOグループの全社員は、
「KOBELCOの3つの約束」を果たすために、以下を宣誓します。

1. 高い倫理観とプロ意識の徹底
2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献
3. 働きやすい職場環境の実現
4. 地域社会との共生
5. 環境への貢献
6. ステークホルダーの尊重

品質憲章

KOBELCO グループは、製品、サービスにおいて「信頼される品質」を提供するために法令、公的規格ならびにお客様と取り決めた仕様を遵守し、品質向上に向けてたゆまぬ努力を続けてまいります。

法令の遵守および社会の要請に即した対応によって社会的責任を果たすことは、企業経営において不可欠のものと位置付け、実践しております。

そのための平時の活動として、当社および関係会社各社では品質・環境・知的財産など諸分野のコンプライアンスに関わる具体的なリスクを抽出し、必要な社内ルール策定・運用、教育および内部監査の実施などによってリスクの顕在化防止に努め、この活動をモニタリングする当社グループの会議体を半期毎に開催しております。

そして、社外取締役を中心に構成する当社のコンプライアンス委員会は、グループにおいて重大なコンプライアンス違反またはそのおそれが発生した場合に社内外の措置・対応を助言する機関として臨時に開催しております。更に、コンプライアンス全般やハラスメントに関する相談窓口を担当部署内に置くとともに、社外の弁護士を受付窓口とする内部通報制度を置いて相談者・通報者の保護を図りつつ、相談・通報案件への適切な対応を行っております。



サステナビリティ経営 4つのテーマ

日本高周波鋼業では、「働き方」と「人材」の両面でダイバーシティを推進しています。日本高周波鋼業は、少子高齢化やグローバル化が進展する中、多様化する従業員の価値観に応えることはもちろんのこと、多様な人材の確保、維持に努めています。

多様な働き方への取組み

夫々のライフステージに応じて仕事と家庭の両立を図りながら働き続けることができるよう、様々な制度の導入を図り、有効活用されています。また、働き方改革の取組みとして、長時間労働の削減、オンライン会議の積極的な活用、年休取得日数の向上にも力を注いでいます。

各種制度

- －フレックスタイム勤務制度
- －育児・介護休職制度
- －福祉休暇制度
- －在宅勤務制度
- －半日休暇制度

多様な人材の確保、維持

女性活躍の推進

日本高周波鋼業では、女性の活躍を推進しており、総合職では積極的な採用を行っています。今後は、職域を拡大することで、更なる雇用を進めていきます。

障がい者の雇用促進

日本高周波鋼業では、障がいを持っている方も、他の従業員と同様の業務に従事しており、企業活動に大きな貢献を果たしています。採用に際しては、夫々の個性に応じて最大限の能力を発揮できる受入職場の開拓を行うことで、入社後のミスマッチの低減を図っています。

シニア世代の雇用

シニア世代の就労問題は、人生100年時代を迎えるわが国にとって、社会全体で解決しなければならない共通の課題として認識しています。また、同時にシニア世代の培ってきた技能や技術を次の世代に継承していくことは、日本高周波鋼業にとって将来の成長の鍵であると考えています。

日本高周波鋼業では、2005年に従業員再雇用制度を導入して以降、法制度の見直しに合わせて改定を重ねており、シニア社員の労働条件の向上を推し進め、やりがいを持って働くことのできる仕組み作りを行っています。

人材育成

日本高周波鋼業の成長を支える最大の経営資源は人材です。日本高周波鋼業では、「人材育成」を経営戦略の要として、企業全体で取り組むべき経営の最重要課題の一つとして位置づけています。その仕組みとしては、「OJT」と「OFF-JT」の2本柱で構成されています。

OJT

「OJT」では、配属された職場で実際の業務をしながら、上司や先輩がコミュニケーションを取りながら必要な知識やスキルを計画的・体系的に部下や後輩に教え、習得させています。特に製造現場においては、若手社員に対する技能伝承が求められており、「OJT」が効果的に機能を発揮しています。

OFF-JT

「OFF-JT」では、職場を離れて社内、外部の教育機関が作成した研修プログラムを階層別に集中的に受講したり、Eラーニング等で必要な知識やスキルを習得しています。また、高度専門技術に対するニーズの高まりに対応して、職種別に専門教育の充実を図っています。



新入社員研修



ビジネススキル研修

福利厚生制度

日本高周波鋼業では従業員がその能力を最大限に発揮することができるよう福利厚生制度を充実させています。それにより、従業員の心身の安定や安心感の醸成が図られるだけでなく、モチベーションの向上により生産性を上げることに繋がっています。

各種制度

- －永年勤続表彰制度
- －財形貯蓄制度
- －永年勤続旅行表彰制度
- －住宅融資制度
- －寮・社宅制度
- －確定給付企業年金制度

その他

- －コミュニティーセンター
- －全国契約保養施設



ソフトボール大会



独身寮

